

科目名	母性看護学特論 Theories of Maternity Nursing		担当教員 (研究室番号)	大平 肇子 (104) 渡邊 聡子 (102) 朝倉 徹夫 (非常勤) 梅本 正和 (非常勤) 橋詰 令太郎 (非常勤)		教員への連絡方法 (メールアドレス)						
履修年次	1年次前期	科目区分	共通科目Ⅱ		選択区分	領域必修	単位数(時間)	2(30)	授業形態	講義	科目等履修生	可
科目目的	周産期にある母子とその家族、および思春期・成熟期・更年期・老年期女性の生活反応・健康状態・適応状態など臨床診断に必要な遺伝学的知識、生殖内分泌学的知識、周産期医学的知識、女性医学的知識、人間発達学的知識を強化する。 母性看護の対象理解と実践に必要な基本概念と支持理論を踏まえ、周産期母子および女性のライフサイクル全般にわたる健康問題について理解を深める。											
ディプロマ・ポリシー(DP)	主要なDP	1. 多様化・複雑化・高度化する看護ニーズを的確に捉え、看護の特定領域における高度な看護実践能力や総合的な調整能力を身につけている。										
	関連するDP	4. 看護教育者あるいは看護実践者としての基礎的な教育能力を修得している。										
到達目標	1. 母性看護の対象理解と実践に必要な基本概念と支持理論について理解することができる。 2. 周産期にある母子とその家族の臨床診断に必要な遺伝学的知識、生殖内分泌学的知識、周産期医学知識を深めることができる。 3. 女性のライフサイクル各期の臨床診断に必要な生殖内分泌学的知識、女性医学的知識、人間発達学的知識を深めることができる。 4. 周産期にある母子とその家族、および女性のライフサイクル全般にわたる健康問題について理解することができる。											
成績評価方法(基準)	レポート(50点)、プレゼンテーション(40点)、ディスカッションへの参加状況(10点)											
教科書	必要時、紹介します。											
参考書等	必要時、紹介します。											
受講者へのメッセージ	包括的な視点で文献検討およびディスカッションをとおして看護について探究していきます。常に課題意識をもち、主体的・積極的な取り組みを期待します。											
備考												
回	学習項目				学習内容				主担当教員	授業方法		
1回	【周産期母子の理解①】 母性看護の対象理解のための基本概念①				母性看護の対象理解の基盤となる概念について学ぶ。 ・リプロダクティブ・ヘルズ/ライツ、セクシュアル・ヘルズ、セクシュアル・ライツ、ヒューマン・セクシュアリティ・ヘルズプロモーション、ウェルネス、エンパワメント、自己決定など				大平他	対面(講義)		
2回	【周産期母子の理解②】 母性看護の対象理解のための基本概念③				母性看護の対象理解の基盤となる概念について学ぶ。 ・女性を中心としたケア、ファミリーセンタード・マタニティークア、性差医療など				大平他	対面(講義)		
3回	【周産期母子の理解③】 周産期にある母子とその家族理解のための主なる理論①				周産期にある母子とその家族の健康問題の特性を理解するための理論について学ぶ。 ・愛着理論、親役割理論など				大平他	対面(演習)		
4回	【周産期母子の理解④】 周産期にある母子とその家族理解のための主なる理論②				プレゼンテーションとディスカッションをとおして、周産期にある母子とその家族の健康問題への理解を深める。 ・愛着理論、親役割理論など				大平他	対面(演習)		
5回	【周産期母子の理解⑤】 周産期にある母子とその家族理解のための主なる理論③				周産期にある母子とその家族の健康問題の特性を理解するための理論について学ぶ。 ・家族システム理論、家族発達論など				大平他	対面(演習)		
6回	【周産期母子の理解⑥】 周産期の臨床診断に関わる形態・機能学①				出生前診断の適応・方法・評価、胎児の健康状態の評価、胎児異常スクリーニングと対応について学ぶ。				朝倉	対面(講義)		
7回	【周産期母子の理解⑦】 周産期の臨床診断に関わる形態・機能学②				生殖内分泌学的知識、周産期医学的知識をもとに、周産期の異常・合併症の病態生理、診断と治療について学ぶ。				朝倉	対面(講義)		
8回	【周産期母子の理解⑧】 乳幼児の臨床診断に関わる形態・機能学①				乳幼児の健康を保持・増進するために必要な医学的知識について学ぶ。				梅本	対面(講義)		
9回	【周産期母子の理解⑨】 乳幼児期における愛着や親子関係				乳幼児期における愛着や親役割を理解し、子ども虐待予防に関する臨床判断に必要な医学的知識について学ぶ。				梅本	対面(講義)		
10回	【女性の理解①】 女性のメンタルヘルス				母性看護の対象をとりまく社会の変遷を踏まえ、女性のメンタルヘルスにおける現状と課題について学ぶ。				大平他	対面(演習)		
11回	【女性の理解②】 母性看護の対象理解に関わる臨床遺伝学①				臨床遺伝学的知識、遺伝情報の特殊性、遺伝医療の多様性について学び、周産期医療、女性医療との関係について学ぶ。				橋詰	対面(講義)		
12回	【女性の理解③】 母性看護の対象理解に関わる臨床遺伝学②				遺伝相談(遺伝カウンセリング)の意義と目的、取り組みの実際について学ぶ。				橋詰	対面(講義)		
13回	【女性の理解④】 母性看護の対象理解に関わる臨床遺伝学③				遺伝相談(遺伝カウンセリング)の体験事例をもとに、周産期にある母子とその家族へのグリーフケアについて検討する。				橋詰	対面(演習)		
14回	【女性の理解⑤】 ライフサイクル全般にわたる女性理解のための主なる理論②				プレゼンテーションとディスカッションをとおして、女性のライフサイクル各期にわたる健康問題への理解を深める。 ・生涯発達理論、発達危機理論など				大平他	対面(演習)		
15回	まとめ				母性看護の実践に必要な理論、概念、技術を検討する。				大平他	対面(講義)		